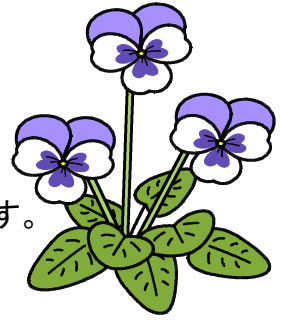


令和4年度 戸笠小学校 学校評議員会

2月14日(火)に第二回学校評議員会を実施しました。

評議員の方々から貴重なご意見をいただきました。

今後の学校運営に取り入れ、子どもたちの育成を図っていきます。



◇ 学校評議員の紹介

学区連絡協議会会長・民生児童委員協議会会長・元PTA会長・保護司

◇ 学校の取り組みについての報告

今年度の学校教育活動全般について（学校努力点、学校行事等）

学校教育アンケート（年2回実施）の分析、成果と今後の課題

感染症対策の現状と児童の様子

学区・保護者（PTA）・学校との連携

◇ 学校、子どもの状況へのご指導・ご助言

3年間のコロナ禍による活動自粛が子どもたちにもたらした影響について、様々な角度からご意見をいただきました。

- ① 地域と子どもがふれあう機会の大切さを実感した。今年の1月に1年生の子どもと地域の人々と、昔遊びの交流活動会を行った。学区の人々と直接コミュニケーションをとることで、今後、子どもたちが地域の行事に参加するときに、安心して参加できると思われる。学校も学区も人と関わる活動を大切にして、コミュニケーションをとれる関係を築いていくことが必要である。
- ② 運動場で元気に遊ぶ子どもも少なくなり、運動不足につながる。内に引きこめることも、全国的にいじめや不登校が増えている要因ではないかと推察される。子どもの健全な心身の育成のために、体力を向上させることも必要である。

子どもたちの交通安全への意識向上についてのご意見もいただきました。

これまで戸笠学区内では、小学生の交通事故は起こっていないが、坂が非常に多く、見通しが悪い場所も多い。自転車に乗っている子も多いが、自転車の乗り方で心配な様子も見られる。学区と学校が連携して、交通安全について発信していけるとよい。